

読書のすゝめ

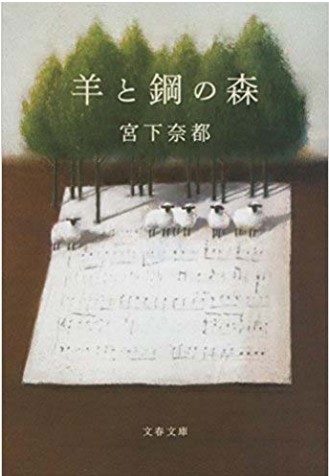
その13 H 30 6 / 1

きこえた！文化の音 「文化庁タイアップ映画」

衣替えですね。そして、いよいよ梅雨入り。じめじめと鬱陶しい季節ではありますが、雨に濡れたあじさいの花には心癒やされますね。さて、本屋大賞を受賞し、28年度の県東地区読書会での課題図書にもなった『羊と鋼の森』が映画化され、6月8日公開となります。エッセイの作曲が久石譲・ピアノが辻井伸行とのことですから、どのような作品となるか楽しみです。ピアノ調律師に関しては、現代文で「調律師のるみ子さん」を学習しましたから、みなさんも興味をもつて見る事ができるかと思いますが、まずは原作を読んでから出かけてみてください。



『羊と鋼の森』 宮下奈都 (文藝春秋)



外村は、高校2年の2学期のある日の放課後、体育館に置かれていたグランドピアノを調律師が調律するのを偶然目の当たりにする。そのことがきっかけとなり、外村は生まれはじめて北海道を出て、本州にある調律師養成のための専門学校で2年間、調律の技術を学んだ。そして、北海道に戻り、江藤楽器という楽器店に就職する。

ひたすら音と向き合い、人と向き合う外村。個性豊かな先輩たちや双子の姉妹に囲まれながら、調律の森へと深く分け入っていく。一人の青年が成長する姿を温かく静謐な筆致で描いた作品。

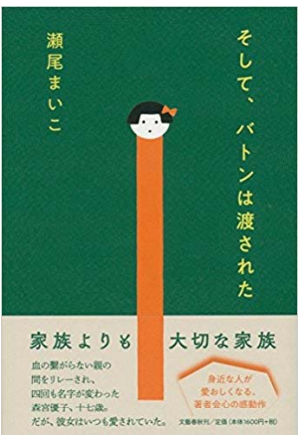
2016年、第13回本屋大賞で大賞に選ばれる。

『スイート・ホーム』原田マハ (ポプラ社)

幸せのレシピ。隠し味は、誰かを大切に想う気持ち。うつくしい高台の街にある小さな洋菓子店で練り広げられる、愛に満ちた家族の物語。さりげない日常の中に潜む幸せを掘り上げた、心温まる連作短篇集です。

『そして、バトンは渡された』瀬尾まいこ (文藝春秋)

血の繋がらない親の間をリレーされ、四回も名字が変わった森宮優子、十七歳。だが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる一冊。



図書委員会活動報告

桜芳祭に向けて各担当者が放課後遅くまで作業中！

①しおり作り・・・読書に欠かせない「葉」をこころを込めて手作りしています。今回も一言メッセージが入っています。

②古本市・・・いらなくなった本やCDなどの協力をお願いします。

③POP作り・・・図書委員会の活動報告。



しよりの種類は12です！



羊と鋼の森

映画「羊と鋼の森」×文化庁タイアップイベント 6.6 楽器の日試写会開催決定！